

2018年3月期 第2四半期 決算説明会資料



<証券コード：6549>

ディーエムソリューションズ株式会社

2017年11月13日



下記URLにて当社社長ショートコメントメッセージをご確認ください。

http://www.cmstream.com/u/dm-s/201711_01Gt53.php



本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 会社概要
2. 2018年3月期 上期（第2四半期）概要
3. 事業環境と成長戦略
4. 通期業績の見通し
5. 参考資料

1. 会社概要

(2017年9月末時点)

- 会 社 名 : ディーエムソリューションズ株式会社
- 設 立 : 2004年9月
- 資 本 金 : 2億2,183万円
- 決 算 期 : 3月
- 代表取締役社長 : 花矢 卓司
- 本 社 所 在 地 : 東京都武蔵野市御殿山1-1-3 クリスタルパークビル 2F
- 営 業 拠 点 : 横浜営業所、大阪営業所、名古屋営業所、福岡営業所
- 物 流 拠 点 : 都内 5 ヶ所、大阪 1 ヶ所
- 従 業 員 数 : 309名

ダイレクトメール事業を収益基盤に、
インターネット事業の各サービスを充実

売上高
102
億円

事業展開

インターネット事業

インターネット
事業部開設

SEO
コンサルティング
サービス
提供開始

コンテンツ
マーケティング
提供開始

パーティカル
メディア
サービス
提供開始

ダイレクトメール事業

営業拠点

物流拠点

創業

三鷹
メール
センター

八王子第1
メール
センター

大阪
営業所

八王子第2
メール
センター

大阪
メール
センター

名古屋
営業所

八王子第3
ロジスティクス
センター

横浜
営業所

福岡
営業所

日野
フルフィルメント
センター

[3月期] 2004年 2005年 2006年 2010年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年

(予想)



2つの成長事業を展開

多彩なサービスで顧客企業の売上拡大、コミュニケーション強化に貢献

販売を促進したい

ターゲットビジネス

顧客／潜在顧客



ダイレクトメール事業

商業ダイレクトメール・
非商業定期発送物中心の発送代行

- ・ 作業～発送受託
- ・ 発送代行
- ・ 企画制作～デザイン～印刷業務

ゆうメール

クロネコDM便

フルフィルメント業務

- ・ 受注業務
- ・ 保管業務
- ・ 梱包～発送業務

宅配便

インターネット事業

デジタルマーケティングサービス

- ・ コンテンツマーケティング
- ・ 運用型広告
- ・ Webサイト制作

SEO

パーティカルメディアサービス

特化型メディアの自社運営



ダイレクトメール事業

3年で売上倍増
業界稀有の成長

新規獲得好調、
既存顧客の積上も
順調

フルフィルメント
領域
受託拡大

中規模案件が得意
高採算化

クロネコDM便
取扱
全国No.1*

※当社調べ

□ インターネット事業

SEO・バーティカル
メディアの収益性

粗利益
50%超

高成長市場のインターネット
メディアでの事業が好調

2016.3～2017.3月期
売上高
約50%増

2. 2018年3月期 上期（第2四半期）概要

前年同期比で約18%増収、20%営業増益 前年同期を上回り好調に推移

売上高

5,052百万円

(17.8% UP)

営業利益

142百万円

(20.2% UP)

経常利益

139百万円

(16.0% UP)

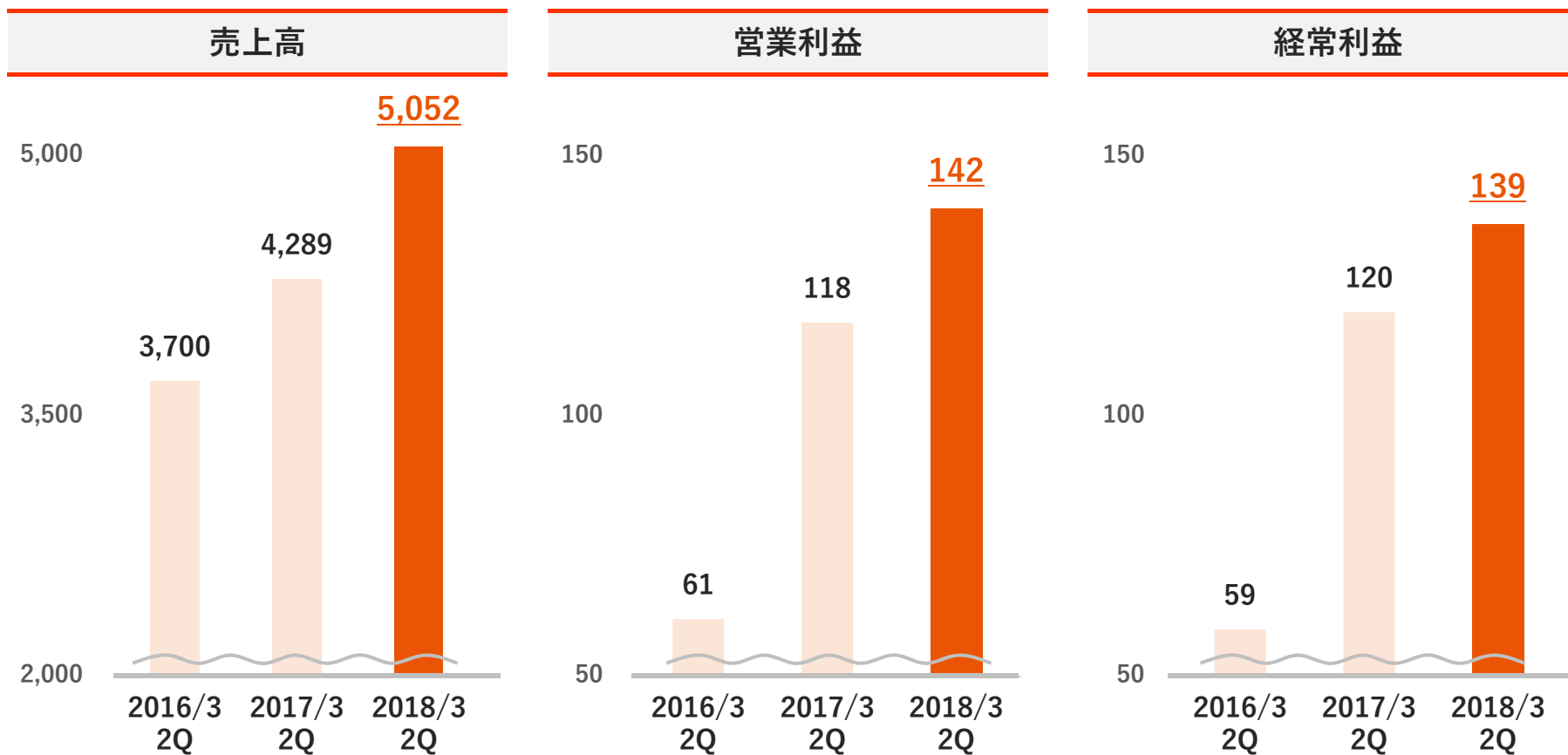
業績概要

- ✓ ダイレクトメール事業において、新規顧客の獲得及び既存顧客からの受注が堅調に推移
- ✓ 7月に日野フルフィルメントセンターを新設し、保管～作業～発送の一括受託能力が向上
- ✓ 営業力および提供サービスの強化を実施

* 2017年3月期 第2四半期の数値は、参考数値として使用

売上・利益ともに年々上昇

(単位：百万円)



* 2016年3月期および2017年3月期 第2四半期の数値は、参考数値として掲載

各項目にて、期初計画を大きく上回り、順調な進捗

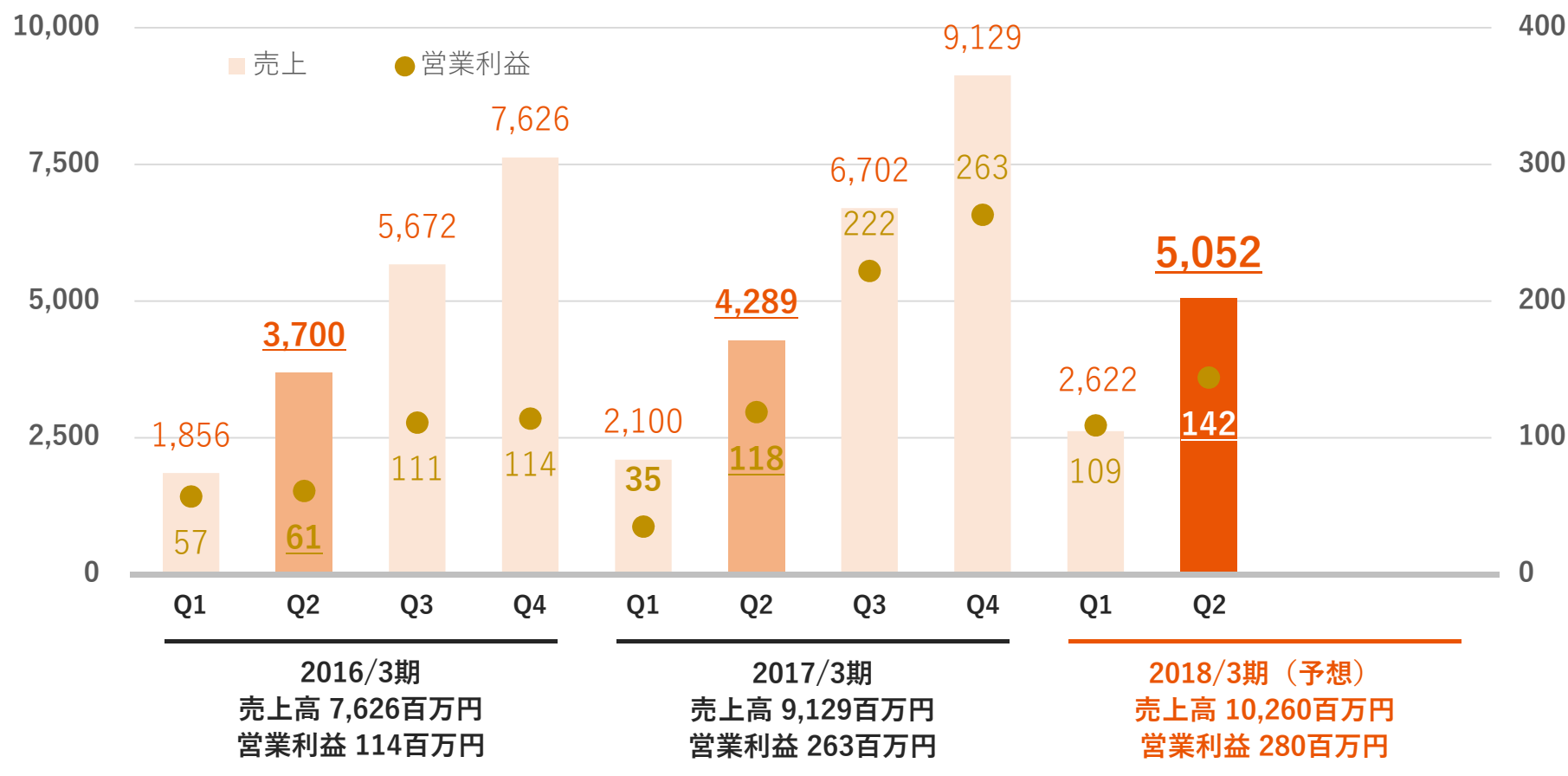
(単位：百万円)

	2017/3 2Q累計	2018/3 2Q累計	前年同期比		当初計画	当初計画比	
			増減	率		増減	率
売上高	4,289	5,052	+763	+17.8%	4,805	+247	+5.1%
営業利益	118	142	+23	+20.2%	86	+56	+65.7%
(率)	2.7%	2.8%	—	—	1.7%	—	—
経常利益	120	139	+19	+16.0%	80	+59	+73.7%
(率)	2.8%	2.7%	—	—	1.6%	—	—
当期純利益	75	86	+11	+14.7%	49	+36	+73.4%
(率)	1.7%	1.7%	—	—	1.0%	—	—

* 2017年3月期 第2四半期の数値は、参考数値として掲載

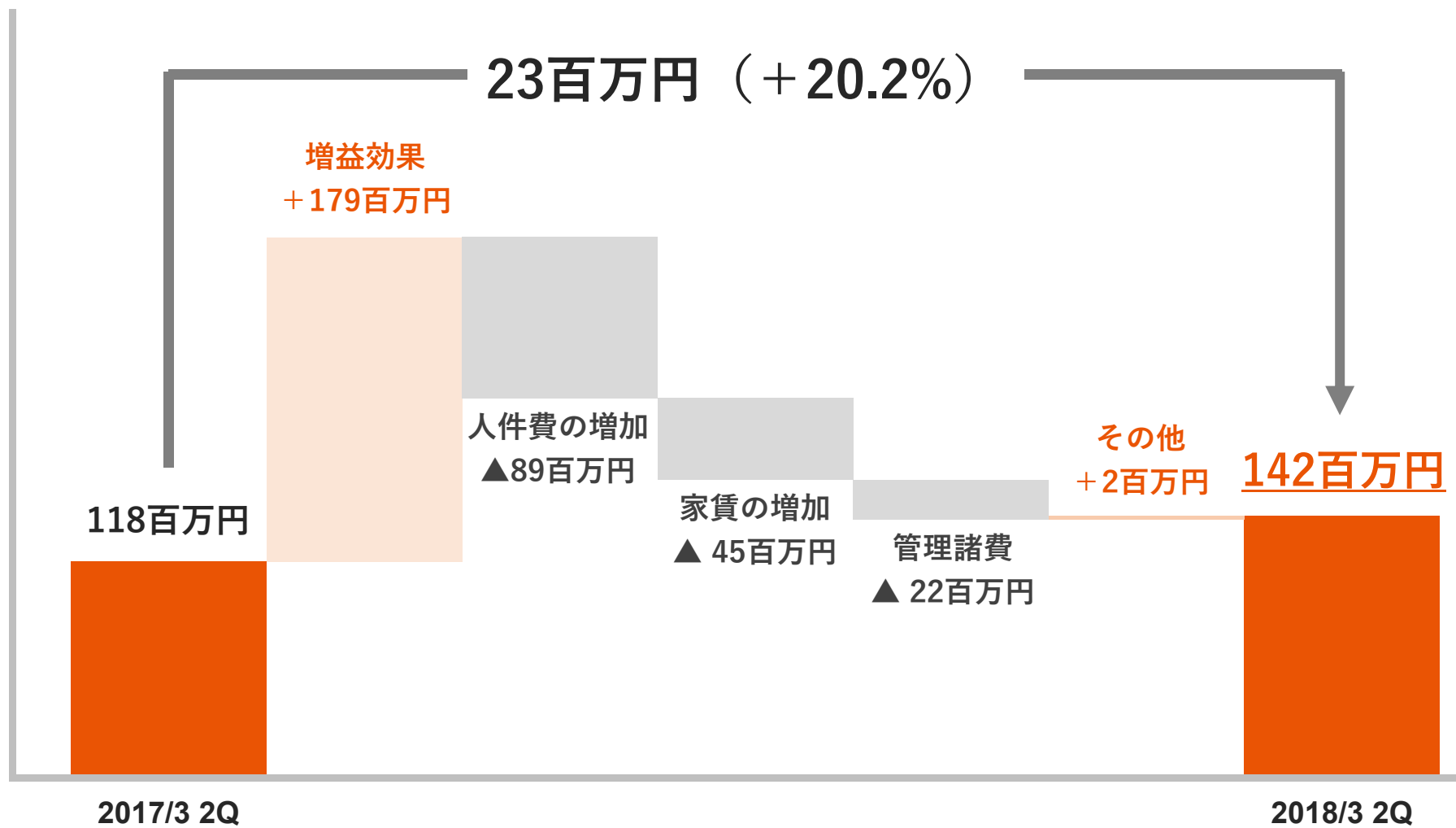
四半期（累計）単位で確実に事業拡大

（単位：百万円）



* 2016年3月期、2017年3月期の数値は、参考数値として掲載

営業利益増減要因



✉️ ダイレクトメール事業

新規顧客の獲得及び既存顧客からの受注が好調に推移し、
増収増益

(単位：百万円)

	2017/3 2Q累計	2018/3 2Q累計	前年同期比	
			増減額	率
売上高	3,765	4,420	+654	+17.3%
セグメント利益	199	252	+52	+26.4%

* 2017年3月期の数値は、参考数値として掲載

□ インターネット事業

コンテンツマーケティングサービスの受注増加及び
既存のメディア事業により堅調に推移

(単位：百万円)

	2017/3 2Q累計	2018/3 2Q累計	前年同期比	
			増減額	率
売上高	523	632	+109	+20.9%
セグメント利益	69	87	+18	+26.9%

* 2017年3月期の数値は、参考数値として掲載

3. 事業環境と成長戦略

成長を支える好循環サイクル

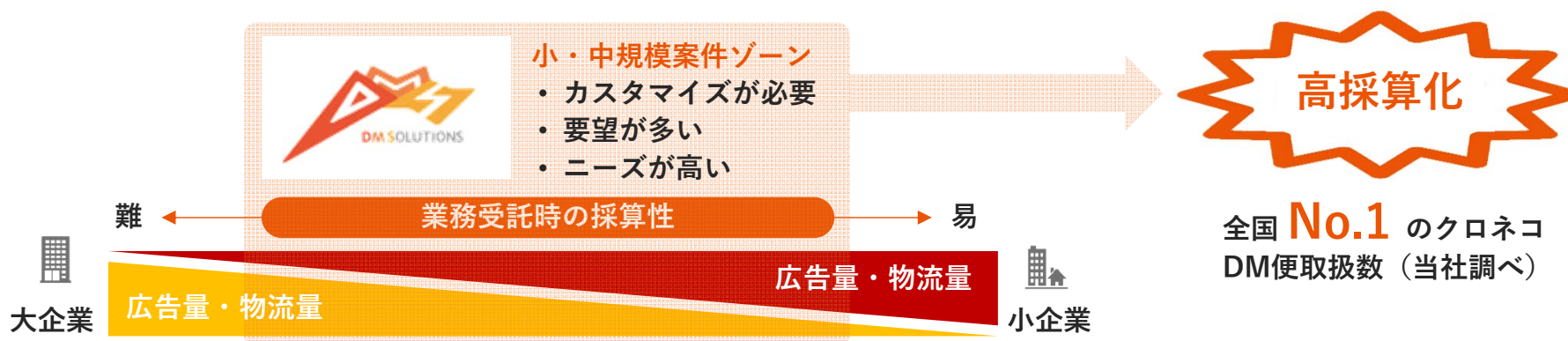


ワンストップソリューション + 小・中規模の案件のオペレーションノウハウ

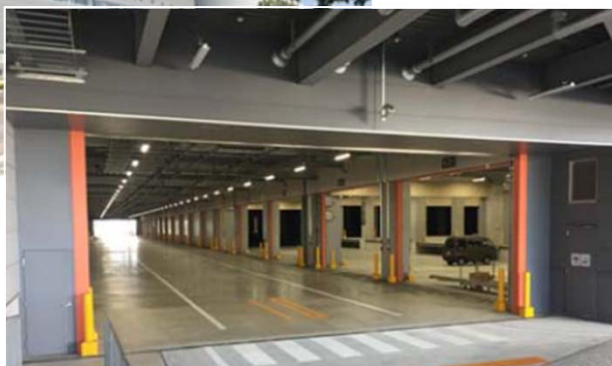
工程ごとに別々の会社に依頼する必要がないワンストップ体制



小・中規模案件（500～50,000通程度／1回）のオペレーションノウハウ



拡大するフルフィルメントサービス



ネット通販等の 商品発送案件の増加に対応

7月に日野フルフィルメントセンターを開設し、保管～作業～発送の一括受託処理能力が向上。

ネット通販等の商品発送案件の増加対応が可能となり、収益機会が拡大。

日野フルフィルメントセンター
建物面積：6,270m²

収益機会の拡大へ

ポテンシャルが高い小・中規模案件マーケットを軸に受託拡大



- ✓ 強みの営業力で上期の増収ペースを維持し、
既存顧客からの受注上積みと新規開拓に邁進
- ✓ フルフィルメントセンターにおける業務受託
を本格化
- ✓ 協力企業との連携により、新たなサービス
ソリューションの開発と受託量増加を図る

総広告費
のうち
20.8%

総広告費 6兆2,880億円 4年連続 6兆円



インターネット広告費 **1兆3,100億円**

広告媒体費 68%
運用型広告
リスティング広告等

広告制作費 32%
枠売り広告
バナー広告等

市場の推移（いずれも5年間の伸び幅）

インターネット広告



1.5倍

SEO



1.4倍

アフィリエイト



1.8倍

出所：電通「2015年日本の広告費
クロスフィニティ(株)『2016年度版SEO市場予測』
矢野総合研究所『2016アフィリエイト市場の動向と展望』

バーティカルメディアの未開拓分野進出等
**SEOノウハウを核に3つの強みを
生かし、事業を拡大**

**トータルソリューション
の提供**

好調な業界において
より成長する分野へ注力



**バーティカル
メディア**

メディアのラインナップ拡充

**コンテンツ
マーケティング**

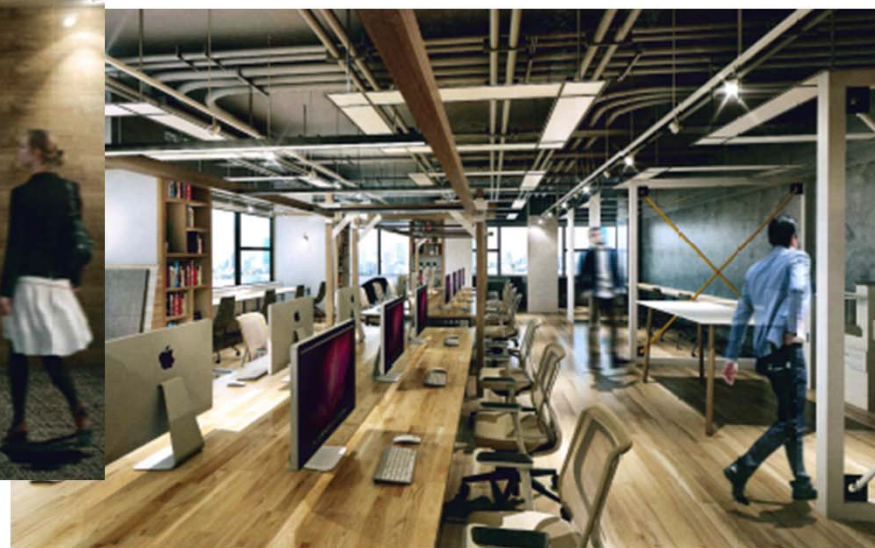
手法の認知、浸透を捉え拡大

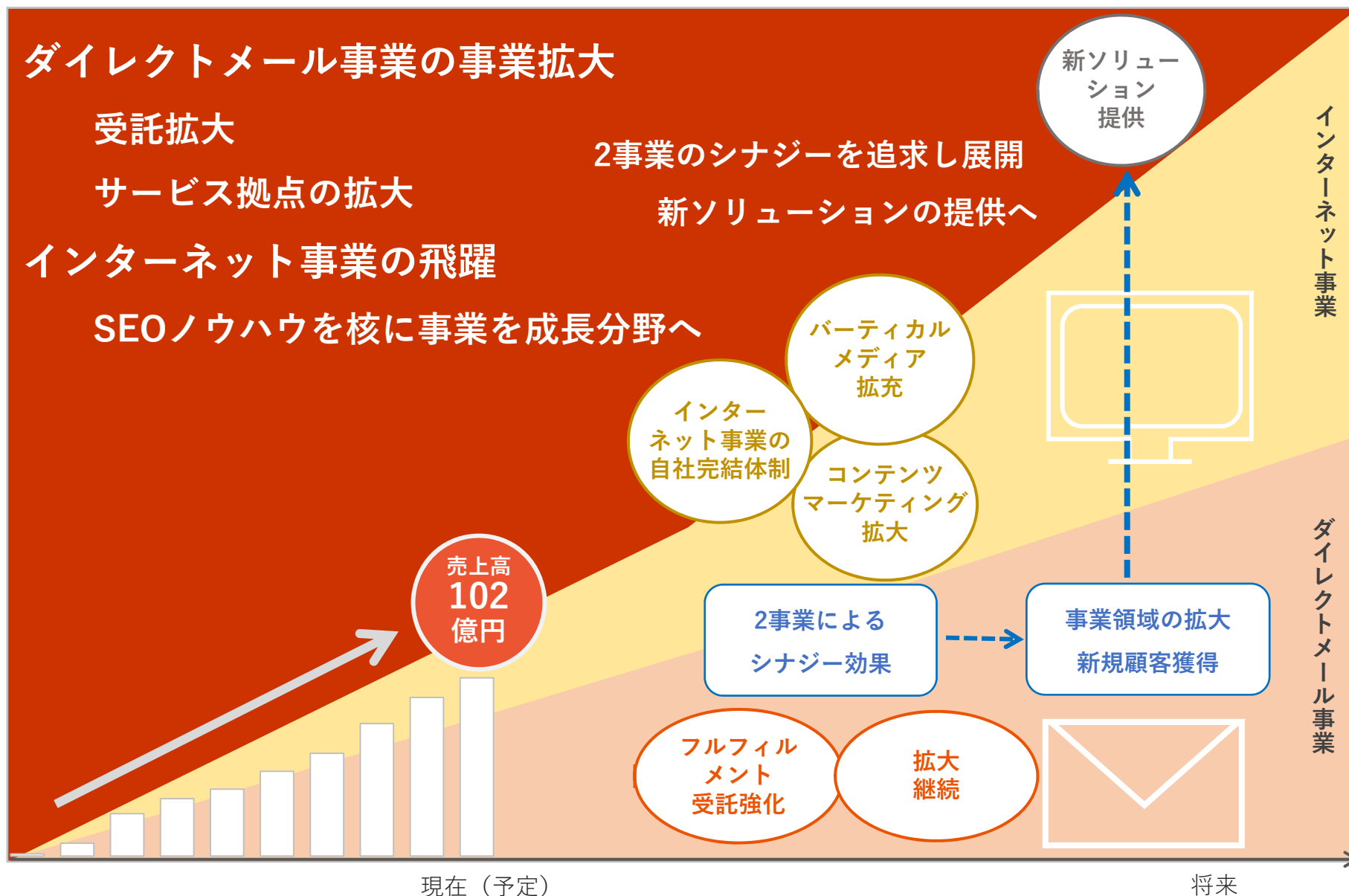
新宿に戦略拠点を開設

2事業の営業強化

+

ネット人材の採用強化





4. 通期業績の見通し

12.3%増収の通期計画の確実な達成を目指す

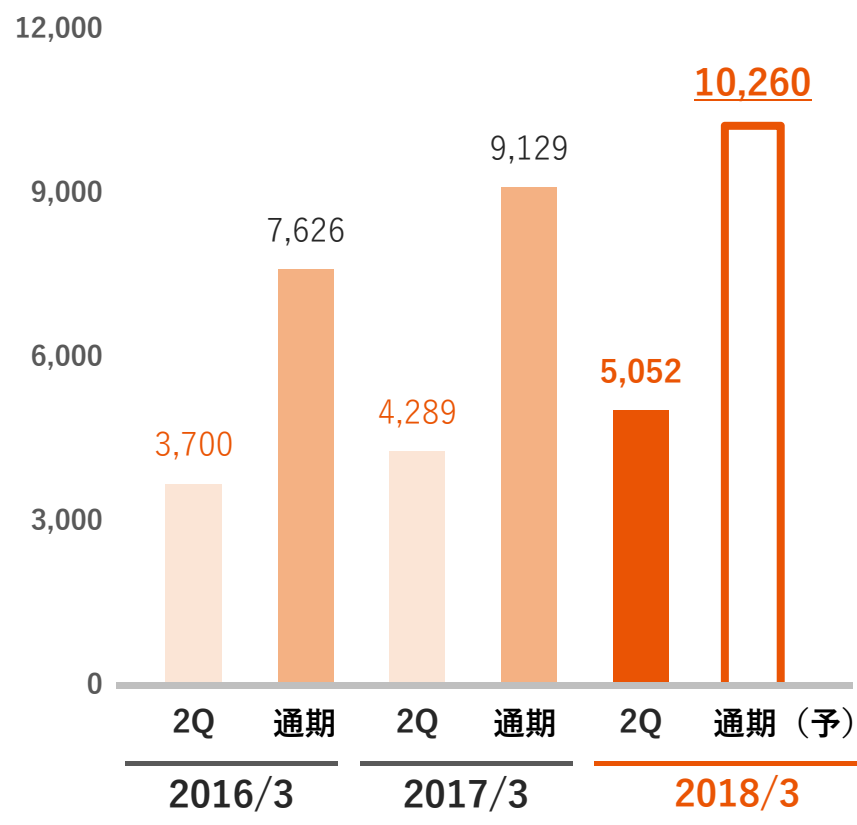
(単位：百万円)

	2017/3 通期実績	2018/3 通期予想	前期比	
			増減	率
売上高	9,129	10,260	+1,131	+12.3%
営業利益	263	280	+17	+6.5%
経常利益	264	273	+9	+3.4%
当期純利益	170	169	▲0	▲0.3%

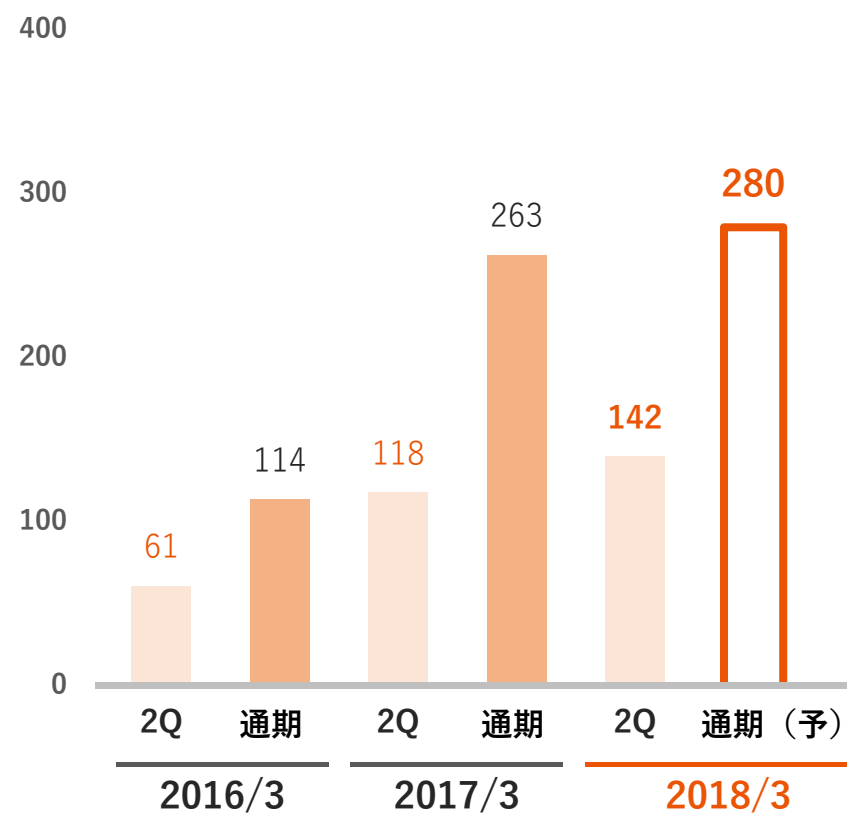
好調な進捗を活かし、業績の上昇を図る

(単位：百万円)

売上高



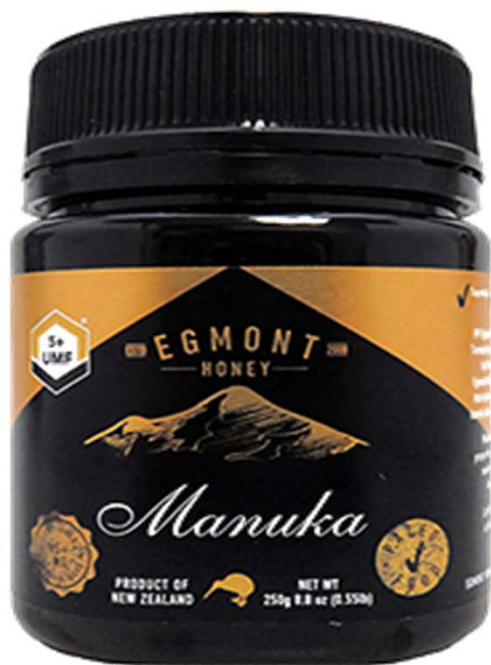
営業利益



* 2016年3月期、および2017年3月期の数値は、参考数値として掲載

株主優待制度を導入

4,000円～5,000円相当の
エグモントハニー社 マヌカハニー 1 瓶



< 対象株主様 >

毎年3月末日にて

- ・ 2 単元（200株）以上を保有
- ・ 1 年以上継続保有

初年度 2018年6月の進呈は

1年継続保有条件なく、
2018年3月末時点の株主様に進呈

5. 参考資料

貸借対照表

(単位：百万円)

	2017/3 期末	2018/3 2Q	増減額
流動資産	1,583	1,951	+ 368
現金・預金	277	620	+ 343
受取手形及び売掛金	1,086	1,111	+ 25
貯蔵品	135	134	▲1
その他	84	85	+ 0
固定資産	1,154	1,240	+ 85
有形固定資産	1,035	1,083	+ 47
無形固定資産	12	11	▲1
投資その他資産	106	144	+ 38
資産合計	2,737	3,191	+ 453

	2017/3 期末	2018/3 2Q	増減額
流動負債	1,120	1,223	+ 102
買掛金	665	658	▲7
短期借入金	—	100	+ 100
その他	454	464	+ 10
固定負債	655	623	▲31
長期借入金	645	611	▲34
その他	9	12	+ 2
純資産合計	961	1,344	+ 383
負債純資産合計	2,737	3,191	+ 453

キャッシュフローの状況

(単位：百万円)

	2017/3 2Q	2018/3 2Q	増減額
営業CF	95	117	+ 22
投資CF	▲59	▲131	▲72
財務CF	64	357	+ 292
現金同等物の期末残高	312	620	+ 308

* 2017年3月期 第2四半期の数値は、参考数値として掲載

ダイレクトメール事業

(株) うるるとマーケティング支援で連携

反響率4.6倍の新サービスをスタート

X ULURU

インターネット事業

「WiMAXプロバイダー比較サイト」オープン

新しいウェブメディアを続々と創出



マヌカハニー専門通販サイト「BeeMe」リニューアル

事業の積極的な展開をスタート



本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

IRについてのお問い合わせ先
ディーエムソリューションズ株式会社
管理部

TEL: 0422-26-7147 MAIL: ir@dm-s.co.jp

<https://www.dm-s.co.jp>